

をテーマとして開催し、その報告・総合討議の内容などをまとめて報告書として刊行した。

「保存科学」51号の出版 (⑥保04-11-1/5)

所属研究員による文化財の保存と修復に関する科学的調査、研究、受託研究報告等の論文、報告および修復処置概報等を掲載している。



第34回文化財の保存及び修復に関する国際研究集会報告書 (⑥セ07-11-1/1)

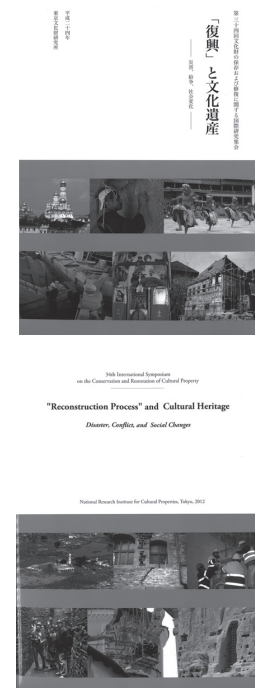
第34回文化財の保存および修復に関する国際研究集会「復興」と文化遺産—災害、紛争、社会変化—

182ページ

34th International Symposium on the Conservation and Restoration of Cultural Property, "Reconstruction Process" and Cultural Heritage —Disaster, Conflict, and Social Changes—

198ページ

本書は、平成23年1月19日から21日までの3日間にわたり開催された国際シンポジウムの成果論文集である。災害、紛争、社会変化という3つのテーマに基づき、各発表者による読み上げ原稿、音声録音記録への加筆修正、新規書き下ろし原稿を掲載している。日本語版と英語版の2冊を刊行した。(2012年3月)



『李唐萬壑松風図光学検測報告』(①企05の一環として実施)

企画情報部では2004年から国立故宮博物院との共同研究を始め、光学的調査方法を活用して、同院所蔵の貴重な書画作品について調査を行ってきた。その成果として『懷素自叙帖検測報告』(国立故宮博物院、2005年)、『孫過庭書譜光学接影検測報告』(国立故宮博物院、2008年)を刊行し、同院での「大観—北宋書画特展」でのパネル展示などを行った。

これらに続く調査報告書として今年度は李唐筆「萬壑松風図」に関する共同調査研究の成果を刊行した。この調査での当所の役割は光学的方法による絵画表面の画像情報化とその検証であった。様々な波長の光に対する物質の反応の違いを画像として記録することにより、作品を構成する素材の様子を明瞭に可視化し、絵画表現のあり方についての分析や制作されてから今日までの作品の生涯を考察する上での基礎的資料を得ることができた。B4判、194頁

